

町政を問う



野坂 明典

まちづくり基本条例制定とは 住民の考えが行政に届くシステムづくり

野坂 「まちづくり基本条例」を制定し、「住みよいまちづくり委員会」の設置と言われているが、どのようなことを目指すのか。

森安町長 まちづくりの基本は住民自治であり、民主主義の基本でもある

住民の考えが、行政に届くシステムを作りたい。そのため、自治基本条例の制定に向けて先進の他団体を調査し、住民アンケート、住民投票など早急に研究する。

産業ネットワーク

野坂 農林業と商工業の連携、企業と行政・金融機関等のネットワークの設置は具体的にはどのようなことを想定しているか。
町長 農業者・商工業者

が情報の共有化が必要である。特産品の開発は個々では難しいので、連携がとれるような組織作りを求めたい。県外に取引のノウハウが有効であり、関係強化に努める。

誘致企業と工業団地

野坂 日本電産・日本海段ホールが本町より撤退する状況の中で、企業誘致が喫緊の課題である。若者の定住化や活気あるまちづくりに企業誘致が待たれているが、このところ全く団地内には企業が来ていない。対応は、

町長 現在の経済状況では誘致は難しいが、人的資源の課題もあり近隣市町村と連携しなければいけない。

野坂 上野の団地は土地開発公社所有になっているが、この土地は三億円の借金つきで毎年五百四十万円の利息を払っている。対応は、

町長 全額町から公社に低利で融資し、土地価格の上昇を抑える。

野坂 清水の里住宅団地は抜本的な工夫と発想で早期の処理が必要では。

町長 景観とか利便性とかの特徴がないと売れないので研究してみる。

認定こども園

野坂 保育所に「認定こども園」を導入しては、

町長 認定こども園には国の補助が少なく、いますぐ導入する考えはない。町立保育所として充実を図る。

岸本公民館の大規模改修

野坂 図書館の充実、公民館を活用した文化教養活動の促進を公約されている。

岸本公民館の大規模改修は合併協定で四億円の概算予算で、前期事業でありながら残っている。現在の公民館は住民ニーズにマッチしなくなっており、また、施設の老朽化により住民が集まる場所になっていない。図書室は見ると耐えないものがある。早期に改修を要すると思うが、どう考

えるか。

町長 岸本公民館の利用状況を調べてみたところよく使われていた。二十一年度予算で図書館のあり方検討委員会を立ち上げ、伯耆町のこれからの図書館を含めた公民館のあり方を早急に検討して頂き、今すぐできるものと将来の基本になるものを分けて対処したい。



岸本公民館

を問う



大江 昇

行政運営の今後の取組

組織変更は最少限度に留める

大江 ①伯耆町の行政運営について、合併後の経過を見定めた取組について伺う。

町長 行政組織の変更、改善は最少限度に留め、現職制度で取り組み・参事監・行政評価員制度については、エキスパートとして頑張ってもらい、効率化も考えていく。

大江 ②一部事務組合に係わる伯耆町としての対応方について、多様化する状況において事前に事業の審議の機会があるべきと考えるが。

町長 趣旨は理解はできるが、議会は議会として議事について勉強会をして頂きたい。

大江 ③副町長選任の考えを伺う。

町長 選任に当たり執行全般を考慮し、しばらく



溝口保育所進入路

時間を頂きたい。
大江 ④溝口保育所の駐車場と進入路の拡幅が必要では。

町長 現場の状況は認識しており、いろいろな観点から考え、対処したい。
大江 ①教育委員長就任に当たり社会教育の重要性について抱負を伺う。

教育委員長 特に今日の社会教育行政の必要性については、強く感じている。教育全般に渡り、七名の教育委員で諸課題に頑張りたい。

大江 ②公民館業務について、諸活動を通して各公民館業務のさらなる活用向上を図るために、管理業務委託をする考えはないか。

教育委員長 現行の運営状況での直営としたい。

町 政



細田 栄

特産品開発に期待

良品質なものを目指す

細田 いろいろな特産品が考えられるが、当面は農産品とその加工品を中心に進められると考えてよいか。

町長 農産品は、馴染みがあり取組みやすい鳥取県を代表する和牛産地として、良質な景観イメージ

ジとタイアップした、品質の優れたものを目指したい。

細田 農産物の地産地消の取組み状況と、その評価、今後の展望についてどのように考えているか。

町長 大山ガーデンプレ



黒ほくりリゾート協議会

イス、大山望など町の直売施設を保有しており、地産地消のフィールドは整っているほうだ。県内の農協の直売施設では年間二億円以上売り上げている店舗もあり、もう一工夫必要である。学校給食への食材提供にも取り組んでおり、今度できる大殿のスーパーへも、直接納入するなど販路開拓に努めたい。

細田 地産地消のメリットは、流通コストが低く鮮度の高い品を低価格で供給できるが、ロットが小さく、消費の計画に合わせて少量多品目の栽培形態を望まれることから生産コストは高くなる。

しかし、新作目の開発や兼業農家、農業の新規参入に向けており、具体的な町の支援策が必要で

はないか。

町長 県の農業改良普及員による技術指導や、町単独の補助制度、制度資金の活用などサラリーマン退職者の農業参入についても取り組みたい。

丸山地区専用 水道の値下げを

細田 大山ロイヤルホテル及び周辺別荘地の水源として旧岸本町が開発し、原水を有料で販売しているが、既に建設費用は全額回収が終わり、今年度は収入の約八百万円が一般会計に繰出されている。

水道料金は一立方メートル当たり百六十八円で別荘オーナーや定住者は町水道に比べて高い料金ではないか。

町長 大和ハウス工業と協議をして、いくらかでも料金の値下げを検討し

たい。

新水源開発が 必要では

細田 最近グリーンパークの水源が強い雨の日には濁ると聞いたが、現状と、解決策があれば聞きたい。

地域整備課長 芝散水のため小野トンネルから補給水を取っているが、雨の日には濁りが出る。根本的には飲料水と芝散水と別々に水源を持ったほうが良いと考えている。

細田 既に水源確保に要した費用の回収が終わっているようなので、飲用に適する新しい水源を町で開発するなど検討すべきではないか。

町長 グリーンパーク大山と具体的な協議をした

を 問 う



長谷川 盟

少子化対策に子育て支援を
環境を整えていく

長谷川 町長の施政方針は深刻な経済情勢を踏まえ、今日の情勢に即応した予算編成で、評価し期待する。ただ一点だけ、大きな社会問題である「少子化対策」について伺う。現状では第四子以上の出産が極めて少なく、できるだけ多く出産できる気運をつくるのが急務と考える。行政として思い切った対策を講じる考えはないか。

町長 第四子の出産は非常に少ない。原因は今の働き方とか家族の形態による部分だと思う。抜本的に変えることは、ワークライフバランス、働き方と人生設計をどうマッチングするかということ、自治体施策に頼る部分だけでは、抜本的な対応はできないと思う。や



ふたば保育園園外保育

れることはしないといけないという認識である。ワークライフ・バランスが認知されて、企業の中でも価値観が育つてくる。さらには子育てをしやす

い環境を整えていくことが一番肝要ではないかと思っている。夫婦が理想とする子供の数は二・五人だが、その実態はもっと少なくなっている。原因の一位が、子育てや育児にお金がかかる。二番目が、若干結婚年齢が高くなったこと。ご夫婦の多くは三人ぐらい子供が欲しいが、経済的とか仕事の理由があって、一人二人のお子さんになって

いるのが実態。町の対策としては、当初予算の中で踏み込み切れていない問題の一つである。経済的負担はどの時点で発生するか考えてみると、保育所、幼稚園の時期だと思ふ。若い世代でお子さんが小さいときが一番大変である。しかし子供が生まれた時期に一時的な

支援とは議論が分かれる。伯耆町の保育所は西部地区で一番安い部類であり、今、保育のあり方についてアンケート調査の段取りをしている。

長谷川 非常に難しいということはおわかりが問題をほっておくと非常に後々問題が出てくる。他町を見ると、若い人は夢と希望があれば子供を産み育てようという気にもならないようだ。そういう町政も必要ではないか。

町長 保育に魅力を感じていただくとともに、子育て環境の充実も考えていきたい。

長谷川 若い人が将来夢を持って子供をたくさん産み育てようかという気持ちになるような町政を期待する。